

事務事業評価資料

施策名		高齢者の自立支援		所管部局課名	健康福祉部社会福祉局高齢社会課					
事業名		老人クラブ助成事業		担当者電話番号	企画調整係 078-362-9033					
事業目的		地域における社会貢献活動の取り組み主体である老人クラブの活動活性化 高齢者の健康と生きがいづくり								
事業内容		活動費に対する助成、地域貢献活動を促進するための助成、健康づくり・介護予防の取組に対する助成等				事業開始年度	昭和32年度			
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額				
	事業費	(267,971 千円) 344,665 千円		(264,198 千円) 335,537 千円		(264,227 千円) 334,463 千円				
	人件費	2,541 千円	従事人員 0.3人	2,508 千円	従事人員 0.3人	2,461 千円	従事人員 0.3人			
	総コスト (+)	347,206 千円	従事人員 0.3人	338,045 千円	従事人員 0.3人	336,924 千円	従事人員 0.3人			
事業の目標		子育てや地域見守り活動を支援する老人クラブ活動強化推進事業の補助対象となる全対象老人クラブでの実施				[目標設定理由] 補助対象となる全ての単位老人クラブが、老人クラブ活動強化推進事業に取り組むことにより、地域における見守り活動を促進するとともに、老人クラブの活性化を図る。				
目標の達成度を示す指標		指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)		
			目標値	年度				H20	H21	H22
		実施クラブ数の割合	100%	21年度	99.8% (3,472 千円)	99.8% (3,380 千円)	100% (3,374 千円)	99.8%	99.8%	100.0%
評価結果	必要性	・高齢化が進展するなかで、高齢者の生きがいづくりと健康づくりの場となり、地域における社会貢献活動の取組主体となる老人クラブへの支援が必要								
	有効性	・すべての老人クラブで重点地域活動が実施されており、社会貢献活動を促進している。 ・健康づくり・介護予防事業の参加者数は、着実に増加している。								
	効率性	・20年度に補助単価の見直しを行ったことから、指標1単位あたりのコストは改善している。								
	民間・市町との役割分担	・原則として県：市町 = 1：1（県上乘せ補助については、県：市町 = 2：1）で負担しており、役割分担が図られている。								
	受益と負担の適正化	・補助は活動経費の一部かつ定額で、会員負担が適当な経費については、各クラブの自己負担としている。								
実施方針	方向性	新規	拡充		継続		実施手法の見直し			
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)		延長	終期設定		
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他		
説明	高齢者ができる限り元気で社会的にも活躍できるよう、老人クラブの諸活動に対する支援を継続する。									